

非血縁者間骨髄採取認定施設
採取責任医師 各位

(公財)日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄採取バッグ(ボーンマロウコレクションキット)から 針付きシリンジでサンプリングした事例

平素より骨髄バンク事業にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

採取施設においてボーンマロウコレクションキット(以下、BMCK)のインジェクションポートからサンプリングをする際に針付きのシリンジを使用したため、骨髄液が漏れた状態で運搬された事例が報告されました。日頃より十分にご配慮いただいていることと存じますが、BMCKのインジェクションポートからサンプリングする際はニードルレスシリンジを使用してください。

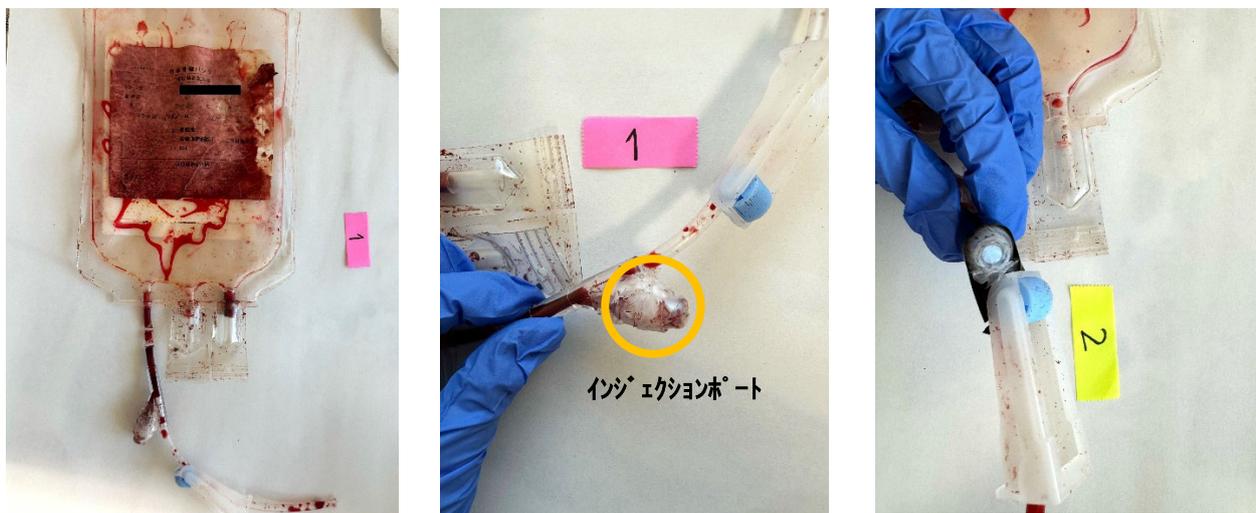
また、再発防止の観点から、骨髄採取マニュアルにBMCKにおける正しいシーリングの例を追加しました。BMCKにおいては、シーリングの位置はインジェクションポートより6cm以上空けた部分で留めてください。以上、院内で周知くださいますようお願い申し上げます。

記

■経過

移植施設に受け渡された骨髄液バッグ3バッグのうち2バッグのインジェクションポートがテープで補強されている状態であった。採取医に確認したところ、サンプリングを針付きシリンジで採取したことが判明した。

▼運搬後の骨髄採取バッグ



※注:インジェクションポートより近位のシーリングは移植施設で実施された可能性が高い。

■対策

1. ボーンマロウコレクションキットのインジェクションポートは、ニードルレスシリンジ対応です。**針は使用できませんので、針なしのシリンジでサンプリングしてください。**

※参考「[ボーンマロウコレクションキットのサンプリング方法についてのお知らせ](#)」
(フレゼニウスカービジャパン社、2023年1月)

2. 骨髄採取マニュアルの修正 (図2-2を追加しました)

骨髄採取マニュアル(13) バッグのシーリング方法 P10 (一部抜粋)

一番外側にヒートシーリングを行い、それより内側を1~2カ所結び目やクランプで留めること。また、予定外に無菌接合器を使用する可能性もあるため、バッグから6cm以上離れた部分で留めることが望ましい。

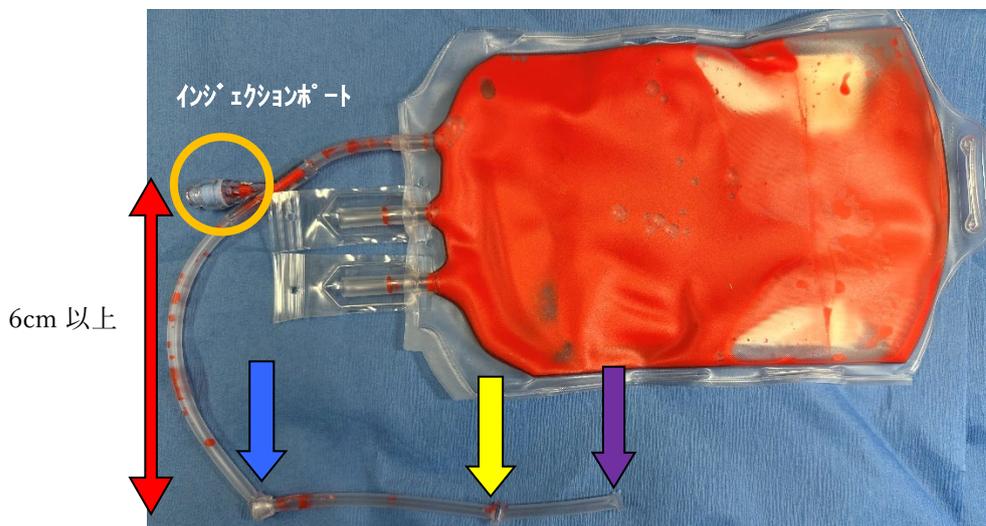


図2-2：正しいシーリングの一例 <ボーンマロウコレクションキット>

インジェクションポートから6cm以上離れた場所※に、結び(青矢印)、ヒートシーリング(黄色矢印)、断端処理(紫矢印)が置かれている。

※バッグとインジェクションポートの間をシーリングすることは、長さ(エリア)が限られているので容易ではなく、シーリング不良の原因となりうるため、推奨されていない。

※インジェクションポートからのサンプリングは針なしシリンジを用いること。

以上